

授業 コード	11106	科目名	労働社会学		担当者					飯嶋 香織		
		副題		開講期	後期	単位数	2	DP対応	S1,S2			
【授業概要】												
<p>職業、仕事、会社などについての具体的な事例などを通して考えていく。現在、大学生の就職問題、非正規労働力率の高まり、女性の職場進出、長期安定雇用の減少といった様々な課題を抱えている。それと同時に女性、非正規労働者、高齢者、外国人労働者などが労働市場に多く参入するようになってきた。こうした変化の実態を映像資料や各種の統計などを通して理解し、今後の労働のあり方について検討することである。</p>												
【到達目標】												
<p>1.日本の雇用システムによって、家族のかたち、日本型福祉や社会政策がどのように規定されてきたのか、それが現在どのように変化してきたのかについて理解し、説明できる。  2.女性、非正規労働者、高齢者、外国人労働者の問題について、理解し、説明できる。  3.現代日本企業のあり方やその変化の動向を学び、大学卒業後の自らの働き方や生活について理解し、考えを深めることができる。</p>												
【授業方法・計画】												
講義中心であるが、映像資料を活用することもある。												
第1回	雇用システムの変化	日本型雇用システム										
第2回	雇用システムの変化	雇用の多様化										
第3回	雇用システムの変化	非正規雇用 ニート、フリーター										
第4回	感情労働											
第5回	女性と仕事	就業構造の変化										
第6回	女性と仕事	均等法の成立・改正とその影響										
第7回	女性と仕事	非正規雇用と女性										
第8回	日本の高齢化と高齢者雇用											
第9回	過労死・過労自殺	ブラック企業										
第10回	ワークライフバランス											
第11回	労働組合											
第12回	外国人労働者	日本における外国人労働者										
第13回	外国人労働者	多くの課題										
第14回	外国人労働者	看護・ケア労働										
【準備学習・復習】												
<p>各テーマごとに講義で用いる参考資料を事前に配付するので、事前に読んで授業に出席して下さい(80分)。授業後に関連する文献、資料などを読んで、各テーマへの理解を深めて下さい(120分)。</p>												
【課題に対するフィードバックの方法】												
<p>毎回、配付するコメントカードについては、積極的な記入を期待している。コメントカードの質問などを次の授業で回答する等を通して、教員と学生の双方向的な授業にする。</p>												
【受講上のアドバイスおよび注意事項】												
<p>大学を卒業後、多くの学生が就職することになるであろう。職業、仕事、会社などについての疑問や関心などをデータなどを用いて現実を考えていくのが労働社会学である。それを通して自分がいま生きているこの社会のあり方を相対化することにつながるようになる。そのためには関連する情報を自分で集めたり、本を読んだりすることが必要である。講義で事例として取り上げるのは日本での例であるため、日本の現状に一定の理解が必要になります。</p>												
成績評価方法	授業で提出するレポート40% 最終レポート60%											
教科書	指定しません。プリントを配付します。											
参考書	小川慎一他『働くこと』を社会学する 産業・労働社会学(有斐閣アルマ) 今野晴貴『ブラック企業 日本を食いつぶす妖怪』文芸春秋											
SS2206	授業に関連する実務経験				なし							